

平成28年度

奈良県小学校教育課程研究集会 図画工作部会

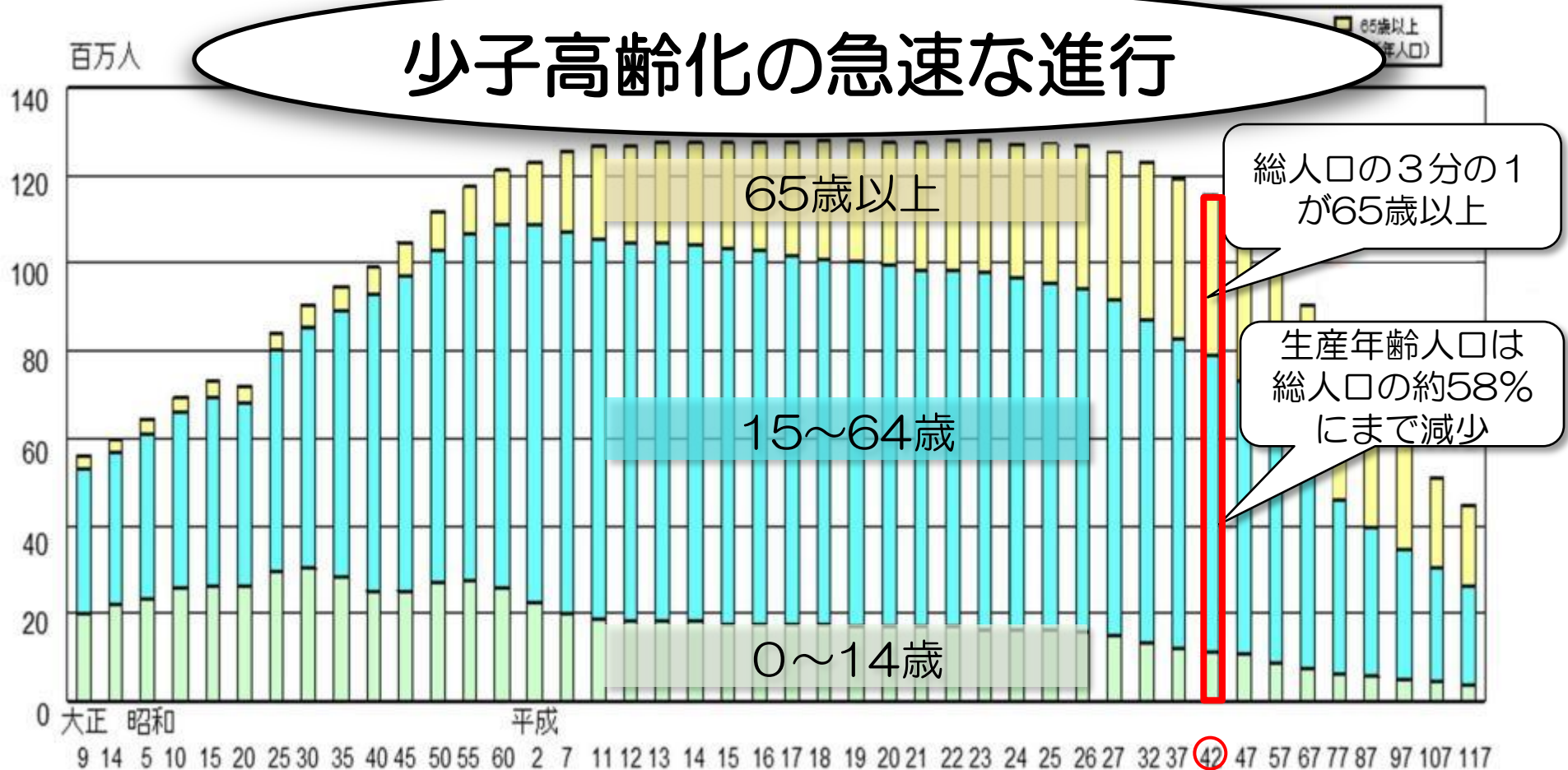


平成28年8月10日 県立教育研究所
県教育委員会事務局 学校教育課
垣内 宏志

学習指導要領改訂の背景

◆ 少子高齢化の進行により、約50年後には総人口が約3割減少、65歳以上の割合が総人口の約4割に達する見込み。

少子高齢化の急速な進行



(出典) 総務省統計局「日本の統計2014」より文部科学省作成

学習指導要領改訂の背景

家庭の家電製品・自家用車
世帯あたりの保有数量

2.5

今後10~20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性

マイケル・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）

1.5

めまぐるしい技術革新

0.5

子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビットソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）

0
1960 1965 1970

人工知能が飛躍的に進化する中、 我が国の学校教育が育む「人間の強み」

人間は、みずみずしい感性を働かせながら、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかなどの目的を考え出すことができ、その目的に応じた創造的な問題解決を行うことができるなどの強みを持っている。

子どもたちが、これからの時代を乗り越えていく力を身に付けるために…

- 知識を覚えることよりも、情報を使いこなす力を重視。
- 自分の考えをもつ、適切に判断する、まわりの人たちに分かりやすく表現するなどといった力が求められている。

現行学習指導要領の成果と課題

図画工作・美術に関する現状と課題①

感性や想像力等を豊かに働かせて、思考・判断し表現したり鑑賞したりするなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや、主体的で創造的な学習活動の充実が求められている。

- 表したいことを見付けて絵に表すこと、我が国や諸外国の作品、暮らしの中の作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることに課題がある。
- 表現と鑑賞に共通して働く資質・能力であるとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるための視点である〔共通事項〕については、一部課題がある。

平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査（国立教育政策研究所）より

「表したいことを見付けて表すこと」 (小学校)

小学校学習指導要領 第7節図画工作第2各学年の目標及び内容 A表現(2)ア

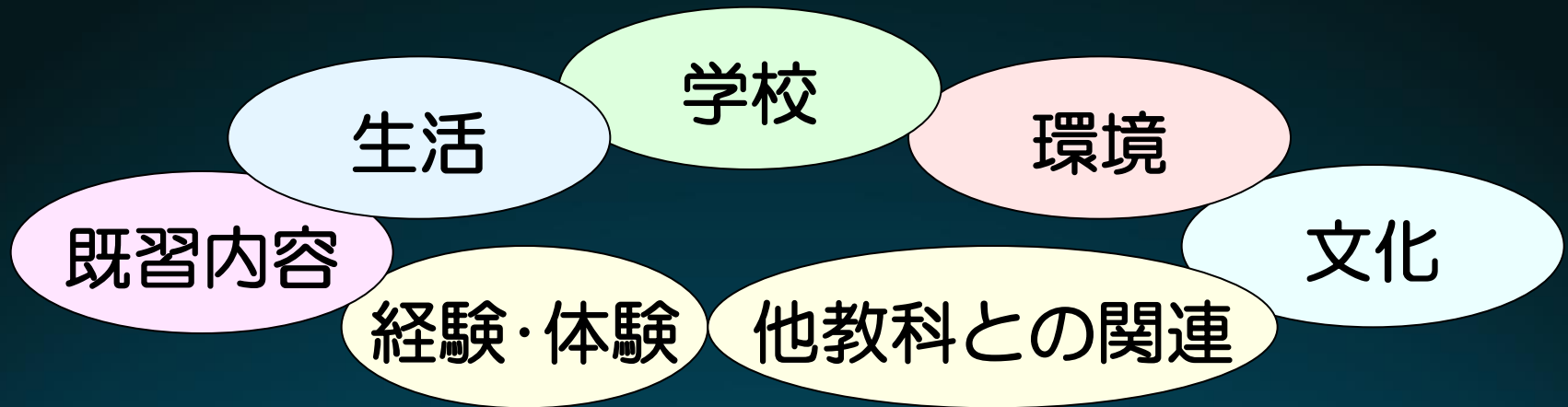
「主題を生み出すこと」 (中学校)

中学校学習指導要領 第6節美術第2各学年の目標及び内容 A表現(1)ア



子どもが自分の表したいことを見付けられるようにすることは学習指導要領に記された指導事項である

現行学習指導要領の成果と課題



児童が自分との関係でとらえることのできる題材
設定や指導を工夫する

「造形遊び」などのように材料などに働きかける
ことを通して、表したいことが見付かり、構想
が深まることもある

現行学習指導要領の成果と課題

図画工作・美術に関する現状と課題②

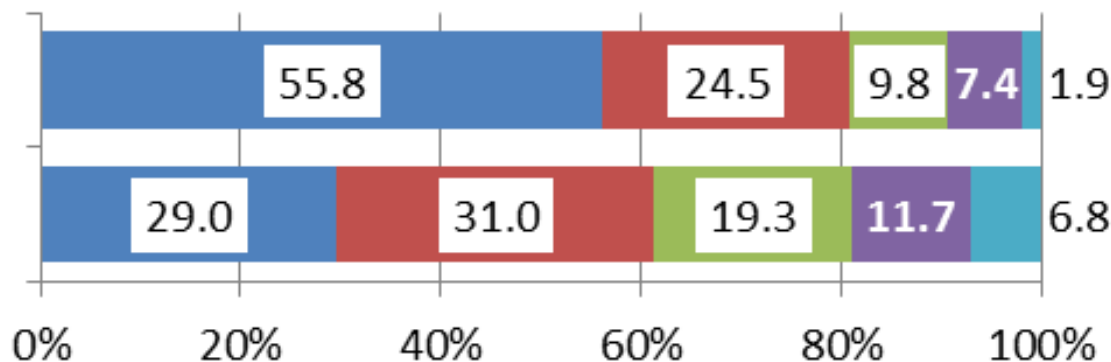
生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化
についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに
関わる態度を育成することが求められている。

- 「図画工作の学習が好きだ」という質問に80.3%の児童が肯定的に回答したのに対し、「図画工作を学習すれば、普段の生活や社会に出て役立つ」という質問に肯定的に回答した児童は、60.0%だった。

図画工作の学習が好きだ。

図画工作の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ。

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- わからない



平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査 より

現行学習指導要領の成果と課題

図画工作・美術に関する現状と課題②

生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深め、生活や社会と豊かに関わる態度を育成することが求められている。

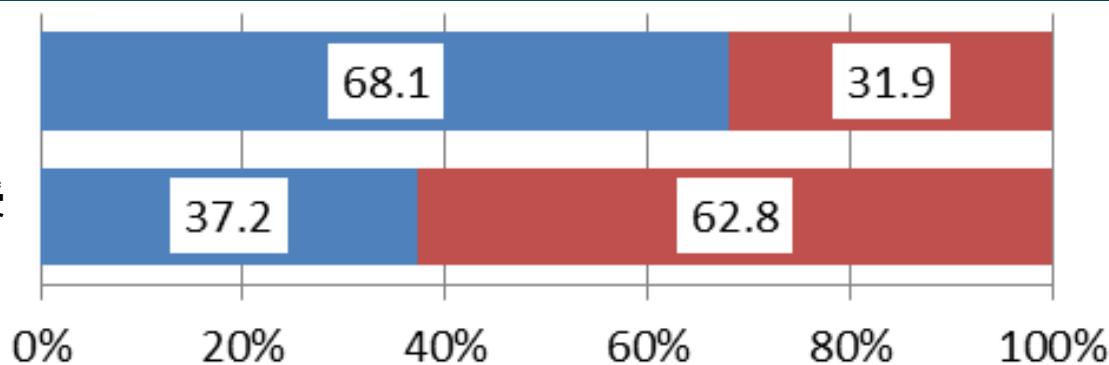
- 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品の表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることについては、相当数の児童ができているが、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品については課題がある。

日本の伝統や文化を感じる作品に興味はありますか。

日本の伝統や文化に関連する授業を行っていますか。

■ 肯定的

■ 否定的




奈良県の現状は…

国宝・重要文化財総数
47都道府県中3位

国宝・重要文化財総数：2013年 より

地元への愛着度 47都道府県中36位

2010年10月 株式会社ブランド総合研究所
「都道府県出身者による郷土愛ランキング」 より

A large, intricately carved wooden statue of a deity, likely a guardian deity, stands in a traditional Japanese temple. The statue is adorned with armor and a crown, and is positioned on a raised wooden platform. Several people are seen from behind, looking at the statue. The temple's interior features large wooden pillars and a complex ceiling structure.

自分にはない視点から想像を広げることができた。

人の意見を聞くことで、自分が注目していなかった所を見てみようとする。

図画工作科において育成すべき資質・能力 (検討のたたき台)

知識・技能	思考・判断・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>形や色などの特徴について、創造活動を通した造形的な視点</u>として理解すること。 など ・ 感性や、手や体全体の感覚などを働かせたり、経験を生かしたりしながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫するなどの創造的な技能を身に付けること。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、表したいことを発想したり、形や色、用途などを考えながら、表し方を構想したりする力。 など ・ 感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら、<u>形や色などの造形的な特徴を捉えるとともに自分のイメージをもつ</u>などして、自分たちの作品や美術作品などから表現の面白さを捉えたり、よさや美しさなどを感じ取ったりする力。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な対象や事象を心に感じ取る感性 ・ 感性を働かせながら味わう、作り出す喜び ・ 造形的な創造活動に主体的に取り組む態度 ・ <u>形や色など</u>によるコミュニケーションを通して、生活や社会と主体的に関わる態度 ・ 美しいものや優れたものに接して感動する、情感豊かな心としての情操 など

下線部は、現行の学習指導要領に示している〔共通事項〕と関連する箇所

次期改訂における「知識」とは

- 一人一人が感性などを働かせて、自分なりに理解し、表現したり鑑賞したりする喜びにつながるもの
- 学習経験を重ねることで、知識が更新されていくこと
- 「技能」についても、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟に向かうこと



小学校2年「ほうおう」

「自分が表したいこと」を習得した技能を活用して表している

生きて働く「知識・技能」の習得

小学校図画工作科の評価の観点のイメージ（例）

観点(例)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各観点の趣旨のイメージ (例)</p> <p>※実際の記述は、各教科の特性、目標の示し方に合わせて検討</p>	<p>(例) <u>造形的な見方・考え方を働かせて、形や色などの特徴について、創造活動を通した造形的な視点として理解している。</u></p> <p><u>造形的な見方・考え方を働かせて、感覚や経験を生かしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使ったり、表し方を工夫して表したりするなどの創造的な技能を身に付けている。</u></p>	<p>(例) <u>造形的な見方・考え方を働かせて、感じたことや材料などを基に、表したいことを思い付いたり、形や色、用途などを考えたりしている。</u></p> <p><u>造形的な見方・考え方を働かせて、作品などの形や色などから、表現の面白さを捉えたり、よさや美しさなどを感じ取ったりしている。</u></p>	<p>(例) <u>造形的な見方・考え方を働かせて、つくりだす喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</u></p>

造形的な「見方・考え方」とは

- ※「見方」…様々な事象を捉える教科等ならではの視点
- 「考え方」…教科ならではの思考の枠組み

感性や想像力などを働かせて、形や色などの造形的な視点で対象をとらえ、自分のイメージを持ちながら、造形と生活などとの関わりについて創造的に考えること。

- 芸術系教科の「見方・考え方」は、〔共通事項〕とも深い関わりがあり、他教科以上に、知性と感性の両方を働かせて対象をとらえることが特徴である。「感性」とは様々な対象・事象からよさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力であり、知性と一体化して人間性や創造性の根幹をなす。

色

イメージ

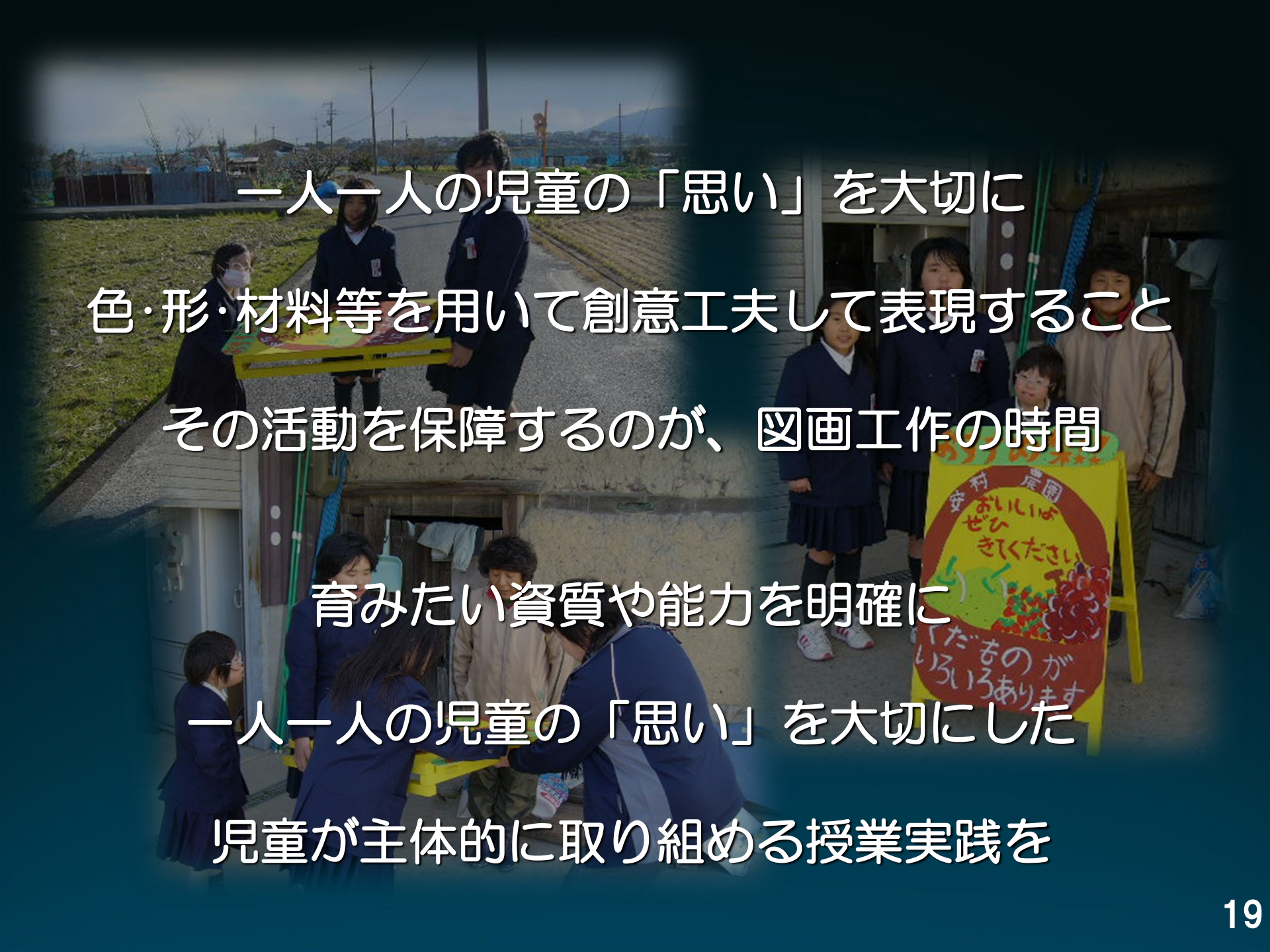
感性や想像力などを働かせて、形や色などの造形的な視点
で対象をとらえ、自分のイメージを持ちながら、

形



イメージ

造形と生活などとの関わりについて創造的に考えること。



一人一人の児童の「思い」を大切に
色・形・材料等を用いて創意工夫して表現すること
その活動を保障するのが、図画工作の時間

育みたい資質や能力を明確に
一人一人の児童の「思い」を大切に
児童が主体的に取り組める授業実践を